



平成 28 年 2 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社レッド・プラネット・ジャパン
代表者名 代表取締役社長 ティモシー・ハンシング
(JASDAQ コード : 3350)
問合せ先 取締役 CFO 王生 貴久
電話番号 050-5835-0966

特別利益、特別損失、営業外費用の発生および
平成27年9月期（連結・個別）通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成27年9月期通期連結決算を確定する過程におきまして、営業外費用、特別利益及び特別損失を計上するとともに、平成27年12月11日に公表した平成27年9月期の連結業績につきましても、予想値と実績値との間に差異が生じたので下記の通りお知らせいたします。

また、平成27年9月期の個別業績予想につきましても、併せて差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の発生

当社持分法適用会社Magnolia Bakery Korea Ltd.が増資を行った結果、当社連結上、持分変動利益67,126千円が発生いたしました。また、当社連結子会社である株式会社キューズダイニングの一部店舗閉店に伴う店舗設備等の売却により、固定資産売却益が7,664千円発生いたしました。

2. 営業外費用の発生

持分法適用関連会社である株式会社フード・プラネット（旧：株式会社アジェット）の株式評価額について、同社が発表した平成28年1月20日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」を受けて見直しを行った結果、同社評価額を減損処理することが妥当と判断し、767,095千円を持分法による投資損失として計上いたしました。また、当社のRed Planet Hotels Paso Tamo Corporationに対する貸付金450,000千円および連結子会社が所有するウェンディーズ・ジャパン合同会社の社債79,999千円について回収可能性を検討した結果、貸倒引当金繰入額として計529,999千円を計上いたしました。そのほか、支払利息として62,288千円、株式交付費として12,570千円を計上しております

3. 特別損失の内容

当社グループで展開しておりました飲食事業について、のれんの評価および個別店舗の固定資産の評価を行った結果、519,052千円の減損処理を行い、損失として計上いたしました。また、Red Planet Hotels Paso Tamo Corporationに係る投資有価証券評価損として28,299千円、連結子会社Fortune One合同会社にて発生した不正返金被害30,613千円を計上いたしました。

4. 業績予想と実績との差異について

平成27年9月期連結業績予想と実績(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回(平成27年12月11日)発表予想(A)	4,179	△714	未定	未定
実績値(B)	4,179	△843	△2,205	△2,717
増減額(B-A)	0	△129	—	—
(参考)前期実績(平成26年9月期)	1,824	△382	△444	△430

(差異の理由)

営業利益は、主に飲食事業の出店遅延による原価率・経費率の悪化により、差異が発生しました。

また、経常利益及び当期純利益については、上記のとおり、営業外費用及び特別損失を計上したことに伴い、表記の結果となりました。

平成27年9月期個別業績予想と実績(平成26年10月1日～平成27年9月30日)

(百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回(平成26年11月19日)発表予想(A)	400	△130	△130
実績値(B)	311	△913	△2,760
増減額(B-A)	△89	△783	△2,630
(参考)前期実績(平成26年9月期)	137	△234	△224

(差異の理由)

経常利益は貸倒引当金繰入額609百万円、当期純利益は関係会社株式評価損1,796百万円の計上による差異になります。

なお、平成27年9月期通期連結累計期間の業績の詳細につきましては、本日公表の「平成27年9月期連結決算短信」をご参照下さい。

5. 平成27年9月期有価証券報告書の提出について

当社は、平成27年12月28日付「平成27年9月期有価証券報告書の提出期限延長申請に係る承認のお知らせ」で開示しましたとおり、平成27年9月期有価証券報告書について、金融商品取引法第24条第1項に定める提出期限である平成28年1月4日までに提出できず、平成28年2月4日までに提出すべく作業を進めておりました。

本日作業が完了し、関東財務局に平成27年9月期有価証券報告書を提出いたしました。

以上